



### 献血功績で厚生労働大臣感謝状



献血運動に功績のあった団体へ贈られる厚生労働大臣感謝状が、江別保健所管内からは1団体、(有)下段モータースが受賞されました。

(有)下段モータースは、27年間にわたり組織的に献血に協力し、職員が400ml献血の重要性を認識しつつ、積極的に協力を行ってきました。下段寿之代表取締役は「これからも献血をはじめとして、社会貢献ができれば」と話されていました。(7月22日)

### 認知症予防とは？



認知症について、脳のメカニズム、対応方法、認知症を予防することなどを学び理解を深めることを目的とした「認知症サポーター養成講座」が総合保健福祉センターゆとろで開催され、町民や福祉関係者、北海道医療大学の学生49人が参加しました。

講座の中では、町民有志による頭と体を同時に動かして、日常生活における体の動きを悪化させないための動作を取り入れたオリジナル体操(認知症予防体操:NYT)が披露されました。

参加者はこの体操を今後の活動や生活で生かすため、指導者の身振り手振りをまねしながら覚えていました。(6月25日)

### 亜麻色の1日



昭和40年代まで栽培されていた亜麻が当別町で復活して14年、多くの方に亜麻を知って欲しいとの思いから、亜麻まつり実行委員会(津崎弘樹実行委員長)主催による「第8回北海道亜麻まつりin当別」が旧東裏小学校にて開催されました。

当日は、亜麻畑の見学会や繊維採取体験、「亜麻色の髪の乙女」カラオケ歌唱コンクール、パネル展などが行われ、町内外から3,000人が訪れ賑わいました。

初めて訪れたという主婦は「会場で宿根の苗を購入しました。自宅の庭で咲くのが楽しみです」と話していました。(7月12日)



開庁 60 周年を記念して



航空自衛隊当別分屯基地開庁 60 周年を記念して、北部航空音楽隊による演奏会が総合体育館で開催され、町内外より 310 人が来場しました。

同基地の<sup>にいろよういちろう</sup>新納庸一郎司令は、「当別町の皆様の多大なるご理解とご協力により私たちも任務を遂行できることに感謝しています」と話していました。

演奏会は 2 部構成で行われ、大河ドラマやラジオ番組のテーマ曲、マンボ・メドレー、組曲などアンコールを含め 12 曲が演奏され、心地よい音色、迫力ある演奏に会場のお客さんも聞き入っていました。

(7月18日)

ようこそ当別町へ！



NPO 法人当別エコロジカルコミュニティ(山本幹彦<sup>みきひこ</sup>代表)がアメリカや中南米、ヨーロッパ等の高校生 9 人を受け入れました。

この企画は、農業や環境と地域との関わりをテーマに、6 泊 7 日のホームステイや自然体験アクティビティなどを通して、この土地の普段の生活や生業を体験し、食の生産の現場や地域との関わり、持続可能な知恵を学ぶプログラムです。

当別町での生物調査や小学生との交流、流しそうめん、おにぎり作り等のさまざまな体験を通して日本固有の文化を学んでいました。

(7月20日)



広 告

広 告

広 告

広 告